

日立OB美術会の足跡

第50回展記念編纂

日立OB美術会事務局

平成24年4月

目次

序文・江川隣之介会員	1 P
会員数の変遷	2 P
出品数の変遷	3 P
日立OB美術会の足跡	4 P～26 P
編集後記	26 P

日立OB美術展の足取り・序文

江川隣之介



私が日立OB美術展に関わりを持ったのは、昭和55年9月開催の第7回展以降である。油絵はそれ以前から手掛けており、その頃は本社に所属していたため、日立関係の展覧会は存在しておらず、照明事業部配下で照明器具を生産している竜ヶ崎工場の日立照明絵画展に出品していた次第である。

それに先だって、昭和42年末に電子事業部照明部に属し、大森にあった日立ランプ(株)の社長に、福原三郎氏が茂原工場より赴任された。北海道大学絵画部の出身の同氏にとっては、東京という新天地に所を得た次第で、銀座の明治画廊に於いて毎年秋に日立OB美術展を開催する様になった。この状況が第6回展まで続き、昭和55年9月には新しく出来上がった日立亀戸厚生年金会館で第7回展が開催された。

その際の記念写真には福原三郎、田口武夫、河野長策、北沢計、勝又理、伊藤洋、佐々木誠、江川隣之介等の顔ぶれが見える。

翌56年9月には第8回展が明治画廊、昭和57年には第9回展が有楽橋画廊と続き、毎回私も出品した。

昭和58年から平成2年まで9回に渡り、毎年10月(平成2年には2月と10月の2回)に日本ビル9階の映写室(現在はルネサス所有)に仮設の衝立を用意して美術展が開催された。更にこれに加え、その間NTT神田営業所に於いて特別展が3回にわたり開催された。この頃は日立の各事業所の会議室、応接室などに、OB美術会員の作品を期間限定で貸し出して、室内に潤いを添える制度も作られ、好評を博した。これは本社総務部始め事業所のご協力のお陰である。

平成3年春の第19回展から平成7年の23回展までは毎年秋に京橋の東京近代美術クラブで開催され、その間日立OB東京展として平成6年春から13年春まで8回にわたり同じく鹿友アートサロンに於いて春季展が加えられた。

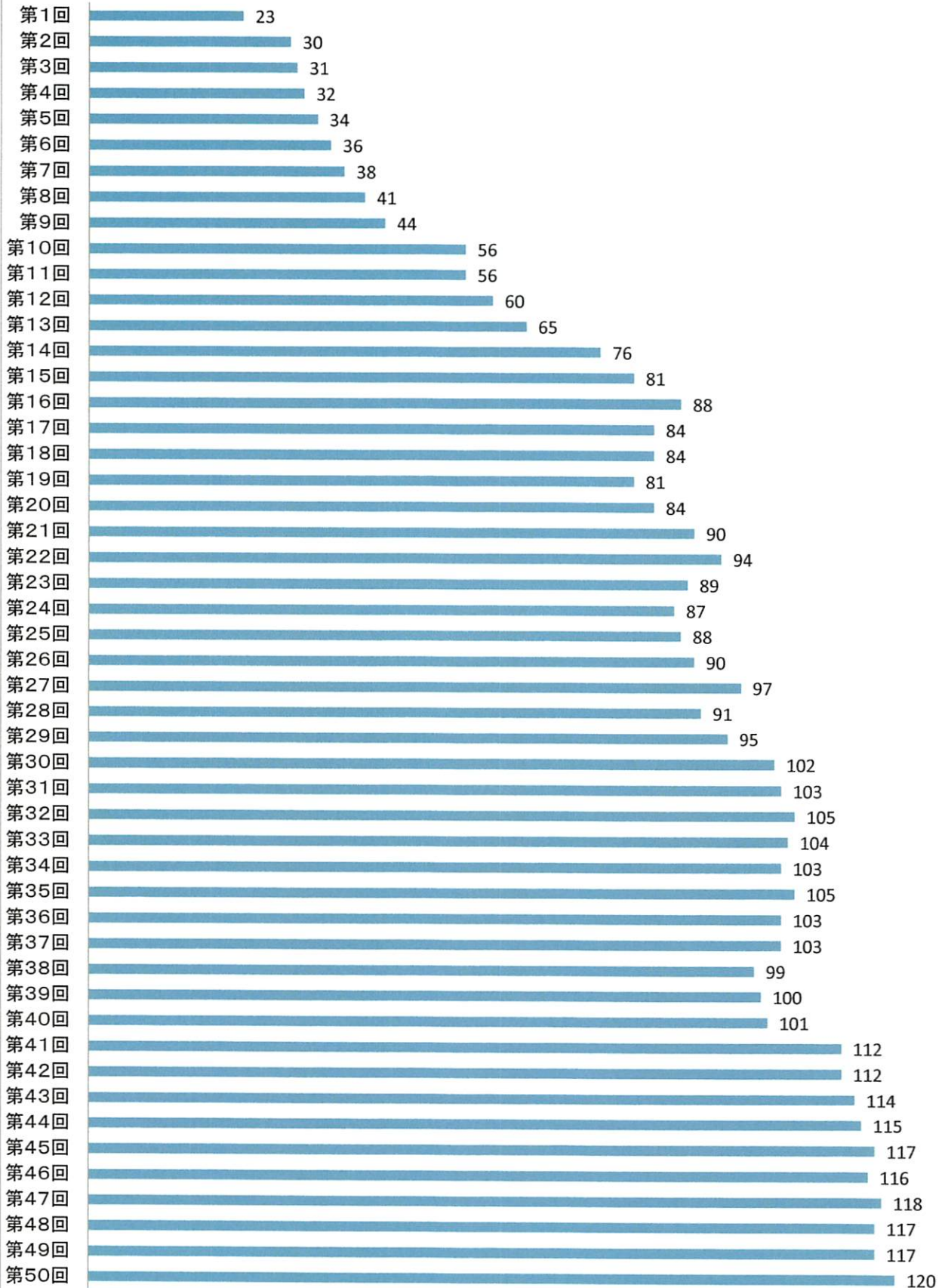
平成14年の30回展以降は、東京展を吸収して、日立OB美術展は春秋二度にわたり京橋のくぼた画廊を全館借り切って開催されるようになった。又会員の範囲も拡大し、平成19年の第40回記念展に際しては会員章(襟ピン)も制定された。

第42回の平成20年春季展以降は、開催期間中の土曜日の午前に、日立社員で構成されたソレイユ室内楽団の演奏も加わった。また日立系列会社・日京クリエイトにより1階の展示場の一角にはワインコーナーも設立され、来観者にワインやコーヒーを提供して懇談の席に花を添えている。

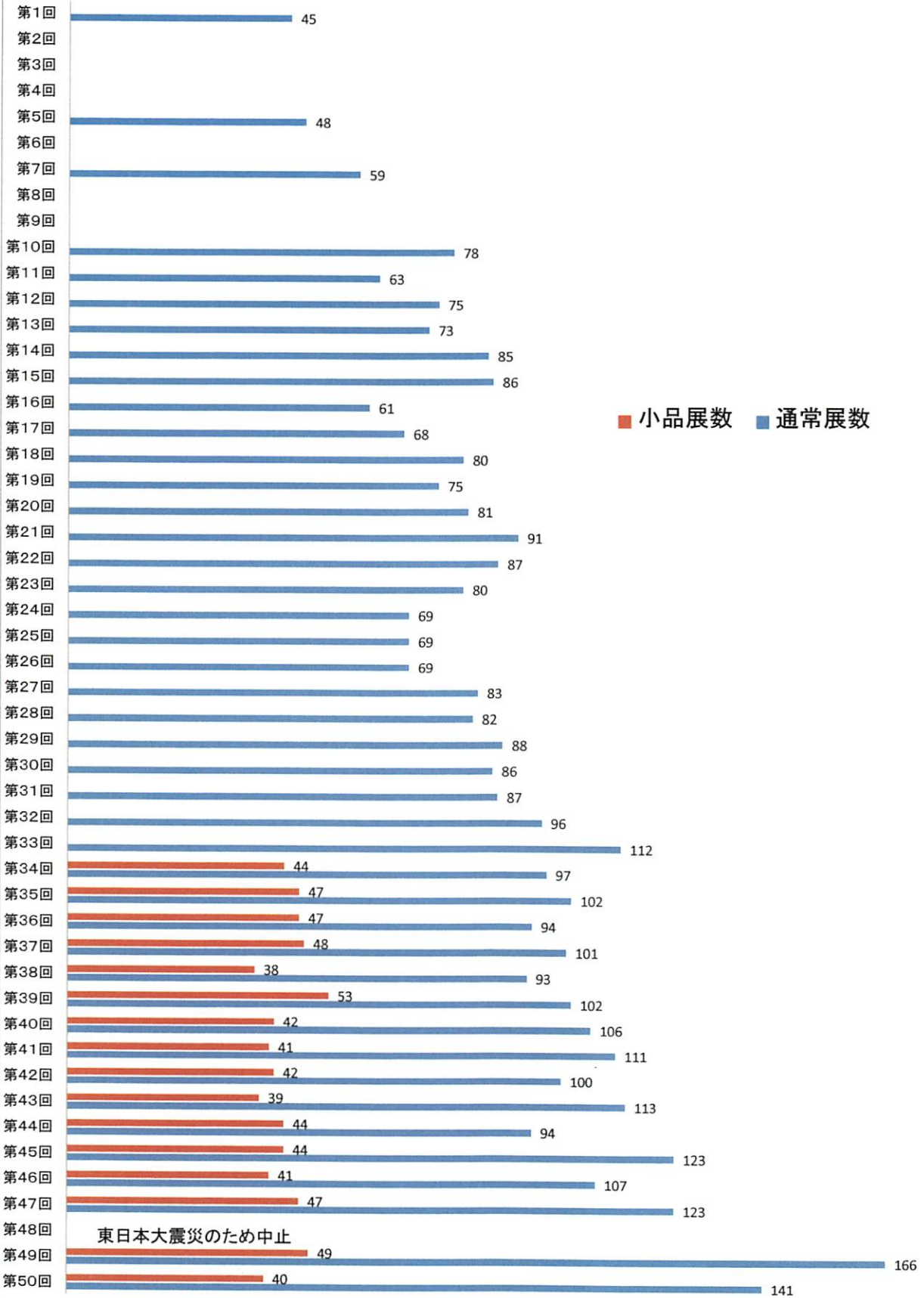
秋期展の開催期間中には日立社友クラブ総会日が含まれており、OB美術会の会場が、全国から参集した日立社友に第二の懇親の場を提供する様になった。

尚平成23年に予定された第48回展は3月11日の東日本大震災のため中止となったが、秋の49回展を経て、平成24年春には記念すべき第50回日立OB美術展開催の運びとなった。国内に類を見ない、会員120余名を擁し全国一の規模を誇る企業OB美術団体の弥栄を祈るばかりである。

会員数の変遷



出品数の変遷



日立 OB 美術会の足跡

年 (西暦)	回 (実施月日)	足 跡
昭 4 8 (1973)	第 1 回展 (12/5~12/9)	(銀座明治画廊) * 日立工場 OB 美術展として発足 * 会員 23 名
		
<p data-bbox="303 1063 586 1097">発足時の出席メンバー</p> <p data-bbox="249 1112 635 1240">高橋,勝又,林田,福原,永吉,甲賀, 斎藤,大内,有泉,山村,足立,加藤, 下杉,伊藤,青木,三浦,松永,小沼,</p> <p data-bbox="266 1256 851 1289">(その他出品者:久保田,高橋治,早藤,福田,水上)</p>		<p data-bbox="919 1063 1044 1097">福原, 松永</p> <p data-bbox="1022 1159 1397 1192">勝又,斎藤,甲賀,松永,山村,有泉</p>
昭 4 9 (1974)	第 2 回展 (11/9~11/14)	(銀座明治画廊) * 会員 30 名、早藤会員初出品
昭 5 0 (1975)	第 3 回展 (11/8~11/13)	<p data-bbox="500 1404 704 1437">(銀座明治画廊)</p> <p data-bbox="500 1453 666 1486">* 会員 31 名、</p> <div data-bbox="651 1550 1261 2008">  </div> <p data-bbox="896 2023 1010 2057">展示風景</p>

日立 OB 美術会の足跡

昭52 (1977)	第4回展 (4/12~4/16)	(トウキョウマリンテラス) *会員 32名、
 <p style="text-align: center;">出展風景</p>		
昭53 (1978)	第5回展 (10/31~11/4)	(銀座明治画廊) *会員 34名
昭54 (1979)	第6回展 (9/25~9/29)	(銀座明治画廊) *会員 36名
昭55 (1980)	第7回展 (9/29~10/5)	(日立年金会館) *会員 38名、江川会員初出品



昭和55年度 日立OB

日立OB会美術展

第7回展を日立年金会館で開催します。
一度ご来館かたがたご高覧下さるようご案内

会期：昭和55年9月29日(月)～10月5日(日)
11時～19時まで(但し最終日は16時)

会場：表面略図をご参照下さい
江東区亀戸9-3-13 電話03-6
日立年金会館



早藤、江川両会員の顔が見える

日立 OB 美術会の足跡

昭56 (1981)	第8回展 (9/15~9/19)	(銀座明治画廊) *会員 41名
---------------	---------------------	---------------------



第8回 日立OB会美術展のご案内

銀座にお出の折には、ぜひお立ち寄り、ご高覧、ご批評いただきたくお待ち申し上げます。

会期：昭和56年9月15日(敬老の日)～19日(日)
11時～19時まで(但し最終日は16時まで)

会場：東京都中央区銀座3-8-15
電話03-561-7383
銀座明治画廊

*この年日立工場を中心とした会員の展覧会が行われている。(8月)



大作が並んで見える

後列：北沢

前列：遠藤、高橋、福田、斎藤、林田、有泉、渡辺、磯崎、下杉

日立 OB 美術会の足跡


昭57 (1982)	第9回展 (10/5~10/10)	(有楽橋画廊) *会員 44 名・8号以下 2点以内 *会則制定される 後に改訂されていく項目 ① 会員の構成：正会員、客員、特別会員、家族会員 ② 資格：日立製作所社員OB, OL、及びその家族 ③ 出展料無料
昭58 (1983)	第10回展 (10/6~10/14)	(日本ビル 913 号室) *会員 56 名・8号以下 2点以内 *9月、筑波山柿岡にて1泊2日の写生会実施 *会則改訂：会員構成から家族会員という表現を削除 *山本会員初出品



伊藤、高橋、江川、福原会員など
入会前の大藤会員の顔も見える

昭59 (1984)	第11回展 (10/15~10/19)	(日本ビル 913 号室) *会員 56 名
昭60 (1985)	第12回展 (10/14~10/18)	(日本ビル 913 号室) *会員 60 名 *今回より 30 号が認められる

日立 OB 美術会の足跡

昭61 (1986)	第13回展 (10/6~10/9)	<p>(日本ビル913号室)</p> <p>*会員65名</p> <p>*駒井健一郎元日立社長(第4回から出品)10/2逝去。遺作「雲二題」が展示さる</p> <p>*世話人: 会長福原、佐々木、伊藤、磯崎、事務局高橋各会員に。 この年から会長表示される</p> <p>*本年より日立支部展(欧美展)と名称変更さる</p> <p>*合評会年3回(4・6・8月)と決める</p>
昭62 (1987)	第14回展 (10/5~10/9)	<p>(日本ビル913号室)</p> <p>*会員76名・建脇、中村(高)、山下、杉本会員初出品</p> <p>*第2回欧美展(6/19~6/24)</p>
昭63 (1988)	第15回展 (10/3~10/9)	<p>(日本ビル913号室)</p> <p>*会員81名・竹尾会員初出品</p> <p>*30号以下2点以内</p> <p>*会則改訂: 名誉会員作る、80歳に達した人、年会費徴収免除</p> <p>*首都圏在住の19名で冬季展(12月)実施する(NTT神田にて)</p> <p>*11月、事務局高橋会員から山本会員に交代、世話人(会長)福原、磯崎、伊藤、下岡、高橋、山下、新たに大藤会員加わる</p>
平1 (1989)	第16回展 (10/3~10/9)	<p>(日本ビル913号室)</p> <p>*会員88名・大藤、景山、佐藤(興)、佐藤(鐵)会員初出品</p> <p>*春期展(3月)・夏季展(6月)実施する(NTT神田にて)</p> <p>*本年1月より合評会を日立美術サロンとし、 日立鎌倉橋別館にて毎月定例実施する事となる</p>
<p>江川会員の父君が日立の総務部長時代(昭和18年当時)、に購入した由緒ある小石川別館が建て直されるという事を知り、福原、鷺尾、山下、江川会員でスケッチ会を催された。</p> <p style="text-align: center;">終了後の懇親風景(8月)</p>		
		

日立 OB 美術会の足跡

平2 (1990)	第17回展 (2/19~2/23)	(日本ビル913号室) *会員84名 *8月世話人に江川、松島会員加わる
平2 (1990)	第18回展 (10/1~10/9)	(日本ビル915号室) *会員84名
平3 (1991)	第19回展 (11/3~11/9)	(東京近代美術クラブ) *会員81名 *第1回海外展パリにて(21名参加) この海外展が新聞に取り上げられ大藤会員の功績が掲載されている。

夕刊 **読売新聞** 11月7日 木曜日
1991年(平成3年)
発行所 読売新聞社
東京都千代田区大手町1-7-1
郵便番号 100-55
電話(03)3242-1111
郵便振替口座東京4-612
THE YOMIURI SHIMBUN
EVENING EDITION (日刊) 第41470号 © 読売新聞社 1991年

企業人パリで絵画展

日立 OB

企業のOB絵画サークルが十二月に、パリで展覧会を開催する。企業関係のサークルが海外で展覧会を開くのは珍しく、「日本人は働きアリと見られがち。企業人もこんなことをやりたい」と、準備を急いでいる。

「働きアリ」イメージ返上



国内で行われた絵画サークル「日立OB美術会」の展覧会

開催するのは「日立OB美術会」。同会員は、日立製作所や関連会社のOBとその家族で、二十年前に発足。現在八十人が入会、平均年齢は六十五歳で、絵を批評し合う月一回の合評会

世話人の大藤啓子さん。た際、フランスで野球チームを作ったことで有名な白た。

立フランスの浦田良一社長に、「二十周年に何かやりたいのですが」と持ちかけたのがきっかけ。会場の確保や絵の輸送などに苦労したが、やっと今回の開催にこぎつけた。

展覧会は来月九日から十四日(現地時間)、パリのオペラ座に近い「レクセル・ドゥ・ミキ」で。会員十六人が描いた油絵や日本画など三十八点が展示される。会員二十四人は開催中パリに滞在、作品はそれぞれ、一足先に発送され

日立 OB 美術会の足跡



お世話になった浦田日本人会長（日立フランス社長）

平 4
(1992)

第 20 回展
(11/1~11/7)

(東京近代美術クラブ)
*会員 84 名・澤野、永島会員初出品
*第 2 回海外展パリにて

平 5
(1993)

第 21 回展
(10/31~11/6)

(東京近代美術クラブ)
*会員 90 名・木崎、二村会員初出品
*本年より東京グループ展開催することとなる。(鹿友アートサロン)
(7/5~7/10)
*第 3 回海外展スペインバルセロナにて (13 名参加)



バルセロナ総領事伊藤夫妻と

日立 OB 美術会の足跡

<p>平 6 (1994)</p>	<p>第 22 回展 (10/2~10/8)</p>	<p>(東京近代美術クラブ) *会員 94 名・山田会員初出品 *第 2 回東京グループ展(4 月)鹿友アートサロンにて 出品料 10 号まで 12,000 円、12 号以上 15,000 円</p>
<p>平 7 (1995)</p>	<p>第 23 回展 (10/1~10/7)</p>	<p>(東京近代美術クラブ) *会員 89 名・粕谷、藤岡 (健) 会員初出品 *第 3 回東京グループ展(4/10~4/15) *第 4 回海外展シンガポールにて (27 名参加)</p> <div data-bbox="526 629 1170 1093" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">日立マイクロシステムアジア社長として在勤中の喜田会員と</p>
<p>平 8 (1996)</p>	<p>第 24 回展 (10/2~10/7)</p>	<p>(鹿友アートサロン) *会員 87 名・重永、庄司、萩原、三村会員初出品 *第 4 回東京グループ展 (4 月)</p>
<p>平 9 (1997)</p>	<p>第 25 回展 (10/1~10/6)</p>	<p>(鹿友アートサロン) *会員 88 名・中川(電)、林(肇)、田中、松岡会員初出品 *第 5 回海外展英国にて (22 名参加)</p> <div data-bbox="550 1464 1248 1966" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">お世話になった HITACHI ヨーロッパ研究開発本部長桑原さんは現在当会会員になっておられる。</p>

日立 OB 美術会の足跡

平10
(1998)

第26回展
(10/6~10/12)

(鹿友アートサロン)

- * 会員 90 名・奥村、川邊、藤本会員初出品
- * 福原代表から鷺尾会員に交代する。
- * 第6回東京グループ展(4/8~4/13)



* 第6回海外展ロサンゼルスにて (26名参加)



谷内ロス総領事と総領事室に寄贈した大藤会員の作品



日立 OB 美術会の足跡

<p>平 1 1 (1999)</p>	<p>第 27 回展 (10/6~10/11)</p>	<p>(鹿友アートサロン) *会員 97 名・川村、井出、藤岡(旭)、土屋、小林、小笹、長谷見、若狭、 宮本、桐生、浅利、横田会員初出品 *4 月第 7 回東京グループ展 *10 月福原前会長急逝</p>  <p>亡くなる 1 週間前の福原会員</p>
<p>平 1 2 (2000)</p>	<p>第 28 回展 (10/2~10/8)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 91 名・岡野、松永、高橋(郁)、板垣、鈴木(重)会員初出品 *4 月第 8 回東京グループ展</p>
<p>平 1 3 (2001)</p>	<p>第 29 回展 (10/1~10/7)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 95 名・桑原、富永、高見、毛利会員初出品 *ワインコーナー開設・日京クリエートに委託</p>  <p>ワインを楽しみながら談笑する両中村会員</p>

日立 OB 美術会の足跡

*会の英文表示を定める

HITACHI SENIOR ARTISTS CLUB

*会のフラッグを作成する



*立見特別会員の絵画研究会始まる。的確なご講評で回を重ねる度に、参加者は増加している。



日立 OB 美術会の足跡

平 1 4 (2002)	第 30 回展 (4/8~4/14)	(ギャラリーくぼた) *会員 102 名・加勢熊、大熊、中川(化)、所澤会員初出場 *本年より春秋 2 回の日立 OB 美術展を実施する事となる
平 1 4 (2002)	第 31 回 (9/30~10/6)	(ギャラリーくぼた) *会員 103 名・磯部、川島会員初出品 美術サロン忘年会にて 
平 1 5 (2003)	第 32 回展 (3/31~4/6)	(ギャラリーくぼた) *会員 105 名・板倉、高倍、渡部、平井、竹内、喜田会員初出品
平 1 5 (2003)	第 33 回展 (9/29~10/5)	(ギャラリーくぼた) *会員 104 名・鹿戸、金川、栗根、田邊会員初出品 *会則改訂 ①正会員資格に日立関連会社に社員として勤務した者が加わる ②会の運営資金を会費に加え、出品料が加わる 会費は従来 12,000 円を 6,000 円に減額,入会金は 6,000 円に変更なし *鷲尾会長が体調都合で辞任、代わって中村会員が就任する。
平 1 6 (2004)	第 34 回展 (4/5~4/11)	(ギャラリーくぼた) *会員 103 名・小暮、山崎会員初出品
平 1 6 (2004)	第 35 回展 記念展 (9/27~10/3)	(ギャラリーくぼた) *会員 105 名・村上、鈴木(友)、金子会員初出品 *記念行事 ①会の名入りボールペン作成、来場者に贈呈 ②カラー顔写真入り名簿作成

日立 OB 美術会の足跡

<p>平 1 7 (2005)</p>	<p>第 36 回展 (4/18~4/24)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 103 名・村田、富木、安藤会員初出品 *日立美術サロン会場が浜松町に変わる。</p>
<p>平 17 年 (2005)</p>	<p>第 37 回展 (10/3~10/9)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 103 名 美術サロン忘年会にて</p> 
<p>平 1 8 (2006)</p>	<p>第 38 回展 (4/3~4/9)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 99 名・山本 (信)、福室、市川会員初出品</p>
<p>平 1 8 (2006)</p>	<p>第 39 回展 (10/2~10/8)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 100 名・堀田、黒岩、伊藤会員初出品 *10 月鷲尾元代表逝去さる。 *11 月代表は中村会員から山本会員に、事務局は山本会員から松永に代わる</p>
 <p>*世話人会を、規模の拡大に対応して委員会組織として分担を明確にした。</p>		

日立 OB 美術会の足跡

平19
(2007)

第40回展
記念展
(4/2~4/8)

(ギャラリーくぼた)

*会員 101 名・林(寛)、岩柳、中山会員初出品

*記念行事

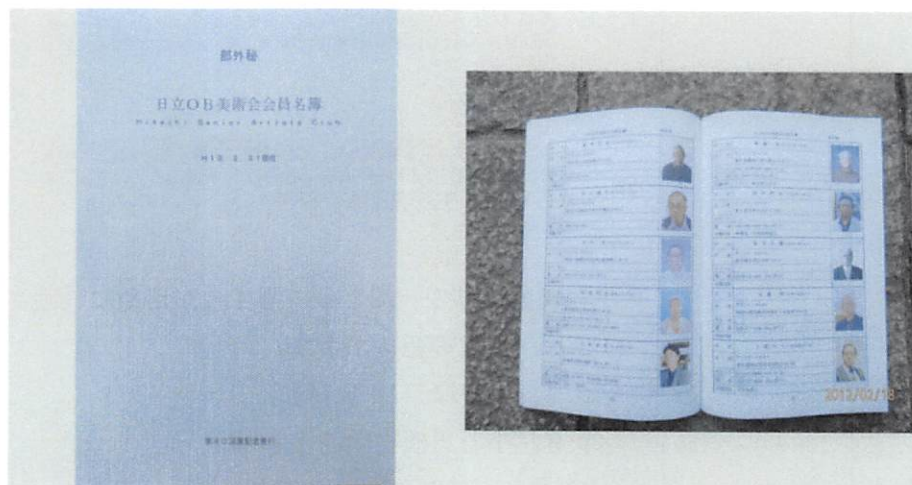
①特別展示室「大正ロマンコーナー」を設け、80歳以上19名(16名出品)を展示した。またエッセイ「私と絵画」を頂き葉を作成展示した。



② 会員襟章ラペルピンを作成



③ 名入り名簿作成



日立 OB 美術会の足跡

④ 日立OB美術会のホームページを開設

毎月更新を行い、会員募集、展覧会案内、学習支援、美術サロン等の活動内容を発信している。2011年現在、海外、国内より月1500件に及ぶアクセス数に達している。

日立OB美術会

- ▶ 組織と会制
- ▶ 企画委員会
- ▶ 美術サロン
- ▶ 陳列委員会

▶ 学習支援 ▶ 美術サロン ▶ 展覧会

第41回日立OB美術展のお知らせ

日時：10月1日～7日、場所：ギャラリーくぼた（京橋）
 なにとぞご来光ご高覧賜りますようご案内申し上げます。
 事務局：松永徹也：03-5930-6471

NEWS

■ 2007-9
 「新掲載」コラム：桐生会員
 e画廊：江川会員・鈴木会員・竹内会員・福室会員・藤岡会員・三村会員

■ 2007-8
 「新掲載」コラム：支部会員
 画廊印象記：陳列委員会（喜田会員）
 e画廊：木崎会員・坂下会員・山下会員・奥村会員・藤本会員・長谷見会員

■ 2007-7
 「新掲載」コラム：喜田会員
 e画廊：早藤会員・薄野会員・村上会員・井出会員・小林会員・金川会員

■ 2007-7
 [新入会員紹介]6月に小松・矢原の2名の方が入会しました。
 →新入会員紹介へ

■ 2007-6
 「新掲載」コラム：栗本会員、
 e画廊：臼井会員・山崎会員・林会員・粕谷会員・桐生会員・永島会員

■ 2007-5
 [新入会員紹介]2月～5月に徳永・上村・石井・中山・本多・堀内・城戸・酒井の8名の方が入会しました。
 →新入会員紹介へ

■ 2007-5
 「御岳写生会」：第2回写生会を5月18日にJR御岳駅近くの多摩川渓谷で開催。当日は天候に恵まれ10名の参加者が11時から思い思いの場所で油絵・水彩スケッチをし、午後3時から合評会後、16時に解散しました。
 →第2回写生会へ

クラブのご紹介

●活動の効用と入会のお薦め

10月に東京京橋のギャラリーくぼたで展覧会が開催され1200名のお客様を迎えています。年々高齢者の増加・自由時間の増加・楽しみ方の充実によりシニアライフを楽しめる環境が整ってきています。

絵を描く事の効果は、

1. 10万時間と言われる自由時間を感動と価値の共有の場に出れる
2. 自然の中や放先で、身心の健康維持が図られ、加齢から身を守ることが出来る
3. 仲間を増やし交流の輪が広がり、地域活動への参加基盤が出来るとなると。

●クラブの概要

現在のクラブ会員数は約100名で年間2回の展覧会と毎月の美術サロンと各種学習支援を行っています。美術サロンの会場は浜松町にありますが、遠距離の方々も諸活動に参加出来るように今後パソコンやwebを活用して行く予定です。

平成19年から中村会長に代わり山本会長が就任しました。クラブも身軽な実務部隊による委員会制度に移行し、新OB入会のための会則も用意しております。

→組織と会則へ

入会ご希望のOB・家族の方及び当会活動に対するご意見をお持ちの方は当事務局（松永徹也：ma-enttle-671751@ruby.dti.ne.jp）までご連絡下さい。展覧会や美術サロンの見学もご紹介致します。

* 学習支援活動の一端として写生会が活発に計画される

- ① 3月、新宿御苑(5名参加)
- ② 5月、奥多摩(10名参加)
- ③ 9月、小石川植物園(7名参加)
- ④ 11月、石神井公園(5名参加)

日立 0B 美術会の足跡

奥多摩御岳にて



石神井公園にて



平 1 9
(2007)

第 41 回展
(10/1~10/7)

(ギャラリーくぼた)
*会員 112 名・徳永、上村、本多、石井、城戸、堀内 (利)、矢原、小松、
田坂、天野会員初出品

平 2 0
(2008)

第 42 回展
(3/31~4/6)

(ギャラリーくぼた)
*会員 112 名・酒井、近、鈴木(一) 会員初出品
*3 月新宿御苑写生会(6 名参加)

日立 OB 美術会の足跡

*今回より日立ソレイユ室内楽団を会期中の土曜のひとときお招きし、絵画と音楽の融合した時間を持つことになった。



* 4月人物画の研究会を立ち上げる。

月1回東陽町の会社のクラブを借用し、建協会員の指導を頂きながら、モデルのクロッキー、固定ポーズの描画に取り組んでいる。






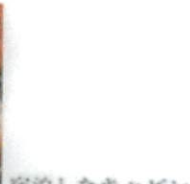


* 日立市からの唯一の会員になった小林会員と団らん



日立 OB 美術会の足跡

<p>平 2 0 (2008)</p>	<p>第 43 回展 (9/29~10/5)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 114 名・吉原、恩田会員初出品 *11 月那須黒磯に 1 泊 2 日の写生旅行 (10 名参加)</p> <p style="text-align: center;">宿の前で</p> 
<p>平 2 1 (2009)</p>	<p>第 44 回展 (3/30~4/5)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 115 名 *4 月野川公園写生会 (5 名参加) *立見特別会員が日本橋三越本店にて個展開催される。小品から 200 号までの作品 40 点余が展示され、好評を博した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>電神雷神道途 特 200</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雷神・桜が咲いた M50</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">立見榮男洋画展</p> <p style="text-align: center;">会期/2009 年 8 月 4 日 (火) ~10 日 (月) 会場/日本橋三越本店 6 階美術特選画廊 <最終日は午後 4 時 30 分閉館></p>


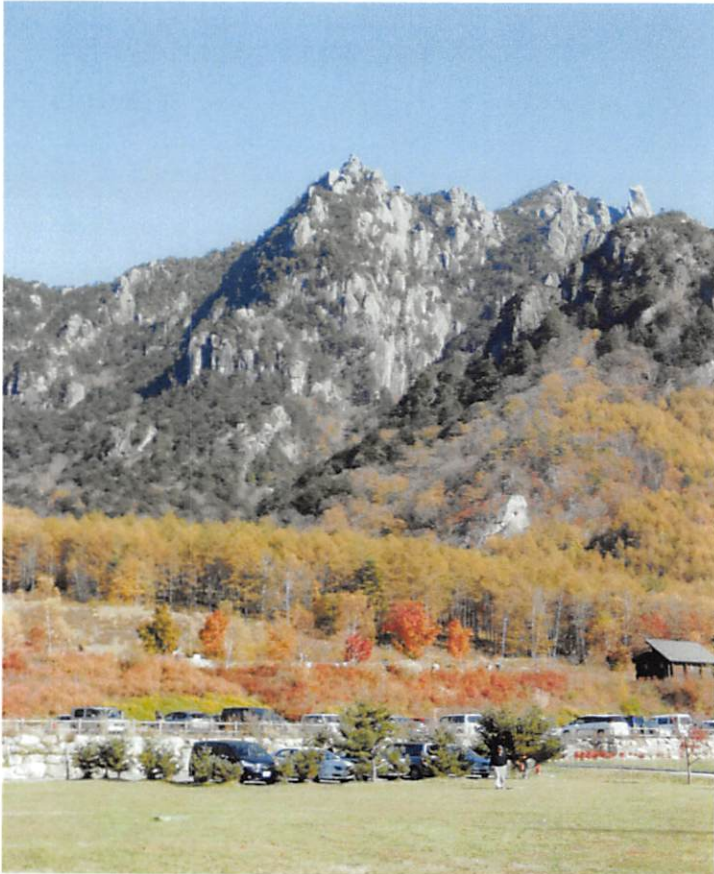
日立 OB 美術会の足跡

<p>平 2 1 (2009)</p>	<p>第 45 回展 (9/28~10/4)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 117 名・石田、堀内(節)、源馬、松本(行)、高橋(知)会員初出品 *10 月展覧会鑑賞・二紀展、一線展 (10 名参加) *11 月日本武道館前にて (10 名参加)</p>
<p>平 2 2 (2010)</p>	<p>第 46 回展 (3/29~4/4)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 116 名・安田、曾我、有田会員初出品 *会則改訂：名誉会員制の復活、88 歳の米寿をお迎えの年から適用。 年会費を免除する。 *2 月浅草周辺写生会 (8 名参加)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>*6 月上高地 3 泊 4 日の写生会 (8 名参加)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>大正池から穂高連邦 (安藤)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鏡岳 (松永)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>合評会での2階本館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>合評会-2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宿泊したキャビン</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1階約8畳で合評会-1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2階の屋根裏部屋約7畳</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">と 合評会風景</p>

日立 OB 美術会の足跡

<p>平 2 2 (2010)</p>	<p>第 47 回展 (9/27~10/3)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 118 名・大塚、松本(茂)会員初出品 *ワインコーナー担当、日京クリエート一時休止のため、急きよ日立オートにて穴を埋める。(47回、49回を担当した)</p> 
<p>平 2 3 (2011)</p>	<p>第 48 回展 (3/28/4/3)</p>	<p style="text-align: center;">東日本大震災のため急きよ中止</p> <p>*会員 117 名 *4 月予定の勝浦写生会も中止する</p> <p style="text-align: center;">苦渋のニュース</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>日立OB美術会ニュース</p> <p>Hitachi Senior Artists Club News 2011.3.17</p> </div> <p style="text-align: center;">第48回展中止のお知らせ！！</p> <p>今般、3月28日からの第48回展を、中止する事を決断致しました。3月9日に案内葉書の会員への送付作業も終り、いざこれかと云うタイミングで、11日になり東北関東大震災が発生致しました。春の展覧会としては、過去最多の99名の参加、120点の出品であり記念すべき展覧会となるはずでありましただけに、この中止は断腸の思いであります。会員各位からも開催の是非について沢山のご意見、ご希望が寄せられました。こういう時だからこそ元氣を出して開催すべきと云うご意見には、ここまで絵の制作に勤み、その発表の機会を失う事への無念さが伝わってまいります。</p> <p>何とか状況の好転は無いかと云う期待は裏切られ、日に日に悪化の一途を辿っております。東北地方の大震災とそれに伴う大津波による被災者数は日ごとに増加し、万単位の犠牲者が予想されます。又余震も続いており、その中で瓦礫を掻き分け寒空の中で身内を探す人を見るに堪えません。</p> <p>さらに、大津波は福島第一原子力発電所にも及び、原子炉の破損さえ危惧され、放射線の拡散も心配されてきており、この問題はこれから長引く大問題になりつつあります。これによる電力不足からくる計画停電、交通機関の閉鎖、燃料不足からくる被災地への物流の問題、等も大きくなっています。</p> <p>①かかる状況の変化が中止を決断するに至った最大の理由であります。②未費の案内を躊躇する意見が多く、来場者は激減することが予想されること。③交通の不便さが増し、地域的に搬入搬出がままならない事態になりつつあること。等が中止の理由であります。</p> <p>この決定により、会場キャンセル料、各種印刷費、その他諸経費が発生致しますが、今回は特別の事態ですので、会費の繰越金の中から支出する事と致します。詳細は決算報告時に示します。</p> <p>但し、既にお客様にご案内をされた方が多いと思いますが、お手数でもお客様への中止のお知らせは各自何らかの手段で頂く様お願いいたします。</p> <p>非常事態と捉え、ご理解の程お願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上 事務局長 松永</p>

日立 OB 美術会の足跡

<p>平 2 3 (2011)</p>	<p>第 49 回展 (10/3~10/9)</p>	<p>(ギャラリーくぼた) *会員 117 名・野村、夫馬、向山、石川(良)会員初出品 *立見特別会員、第 65 回記念二紀展にて「内閣総理大臣賞」を受賞される。 (国立新美術館)</p> <p style="text-align: center;">受賞作品</p>  <p style="text-align: center;">第65回記念二紀展 雷神・禊の風 立見榮男</p> <p>*10 月瑞牆山(ミズガキ山)2 泊 3 日の写生会(6 名参加)</p> 
-------------------------	--------------------------------	--

日立 OB 美術会の足跡

宿の門前



水車小屋のある蕎麦屋



平 2 4
(2012)

第 50 回展
記念展
(4/2~4/8)

(ギャラリーくぼた)

*会員 120 名・原田、小島、東会員初出品

*記念行事

- ① 会員全員のエッセイ集を編纂
- ② 日立OB美術会の足跡の編纂
- ③ 会員名簿の更新

*銚子市犬吠埼写生会 5 月 13~14 日、浜松町からバスにて往復
犬吠埼京成ホテル泊 (パック料金 18,000 円)

*水元公園写生会 10 月 22 日 (月)

日立OB美術会の足跡

現在の運営委員



(曾我委員欠席)

編集後記

日立OB美術会の記念すべき50回展を迎え、事務局としては、この区切り目に諸先輩が辿った歩みを纏め、残して置くべきではないかと考え、執筆に着手致しました。

第一回展は1973年に銀座明治画廊で実施され、今年でちょうど40年になり、この間に五十回の展覧会を実施して来た訳で有ります。当初日立地区を中心とした同好の仲間20数名が集まり始まった会で有りますが、東京に発表の場を求め、徐々に全国的な組織に拡大してきた様であります。

いざ執筆に着手してみますと、設立当初の先輩はごく少なく、時間や、資料も少なく表面的な内容になったと反省しておりますが、歴史を後に繋ぐことに少しでも役立ってもらえれば幸いです。

最古参は早藤会員で第二回展からご出品、次が江川会員で第七回展からのご出品であります。江川会員には序文を出稿して頂きましたし貴重な写真等もご提供頂きました。厚くお礼申しあげます。その他、山本会長、萩原委員、粕谷委員、喜田委員、川島委員、安藤委員、藤本委員、栗根委員などのご協力を頂きました事、海外展については大藤委員に資料の提供をして頂きお礼申し上げます。

この歴史資料の中に、現在在籍の会員が何回目から出品されているかを表示してあります。ご参考にしてください。

過去の世話人、現在の山本会長以下委員各位の骨身を惜しまぬ平素のご努力に敬意を表し、会の今後益々の発展を祈念する次第です。

2012. 3月 事務局 松永徹也

